

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 星の家きらり

目標達成計画

作成日: 平成 21 年 10 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 24 25	毎日の暮らしの中で、入居者一人ひとりに合わせた生活が出来てはいるものの時に職員の都合での支援になっている部分もあると思われる。	入居者一人ひとりのペースに合わせた職員の声かけ、支援。	・食べた人から直ぐに下膳するのではなく、食事時間をゆっくりと過ごす。 ・起床時間は入居者それぞれの為、朝食時間を多少前後しても良いとする。	6ヶ月
2	22	ミニカンファレンスなどで意見交換は出来ているが、職員全員がケアプランを把握し、同じ方向性で支援が出来ていない部分もある。	意見交換を十分に行い、入居者に対して職員全員が統一した支援が出来るようにする。	・定期的なカンファレンスの実施。 ・情報交換ノートを利用した意見交換を行う。	6ヶ月
3	29	入居者の方が一人で出来る事が他にもあるのではないかと、職員が手をかけすぎている事はないかなど、見直しが必要。	入居者の今ある力を引き出し、自分で出来ることをそれぞれに見つけていく。	・出来ることは自分でしていただく。 ・一人ではという方は他者と一緒に出来ることを発揮していただく。	6ヶ月
4	67	心身の機能回復に向けた支援を日常生活の中に自然な形で取り入れ、維持・向上するように取り組んでいきたい。	入居者一人ひとりの心身機能の状況を把握し、楽しみながら、無理のない範囲で維持できるよう支援したい。	・筋力低下を防ぐ。 ・毎日、身体を動かす機会をつくる。 ・主治医の協力を得る。	6ヶ月
5	89	どうしても、グループホームの中での生活に偏ることが多い。地域との関わりがあまり出来ていないと思われる。	地域行事、公民館の活動など、積極的に参加をし、交流を図っていきたい。	・地域行事への参加。 ・ボランティアの受入。 ・近隣への外出(買い物など)。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。